10-⑦ 怖れを癒すには

<怖れを癒すには>(P252✔)

-人間は彼の虚偽性を彼自身と思っている

怖れの癒し方について助言をもとめる人が多いのには驚かされる。ここに問答を掲げてあなたへのガイダンスとしたい-

Qあなたのご本のお蔭でわたしは初めてなにかを理解することができました。わたしは自分が非常に怯えていることにいま気づいています。実際に怯えているのです。怖れの原因とその治癒について相談したいのですが・

A.問題全体をできるだけ簡単に説明しましょう。人間というものは、彼自身についての想像上の観念群、誤った道徳観念、神経症的な欲求などから成りたっている砂上(さじょう)の楼閣(ろうかく)に生活しているのです

Q 彼自身の虚偽性が壊わされることを恐れている、とおっしゃるんですね?

Aそうです。彼は勘違いしていて、この誤ったアイデンティティを彼自身と取っている。彼は、彼のアイデンティティがこれらの想像上の観念の束からできていると思いこんでいる。本当はそうではないのに、そうだと思っ

Qでは、どうしたら彼はその虚偽性を放棄できるのでしょうか?

Aそれは、砂上の楼閣が崩れるのを黙許(もっきょ)し、かつリアリティの波が押しよせてくるのに抵抗しない、この二つで達成できます。砂上の楼閣が崩れると、防衛すべき虚偽性の構造体をもはやもっていないのですか

Q例を示して下さいませんか?

A たとえばあなたがある事が起こってくれればよいがと望んでいるとします。それが起こらないと、あなたはイライラしてくる。たぶんあなたの通常の反応は、憤りを感じるか、誰かを責めるかでしょう。しかしあなたは

Q ご指示をいただいた通り、このことの理解に努めたいと思います。

A 結構です。そうすれば、どんなことについてもけっして怖れをもつことは要らないのだと分るでしょう。

あなたが採れるひとつの態度がある。この態度を採れば、新しい境地への着実な前進が間違いなく保証される。それを示す前に、この態度のもつ深い意味を信じてほしい。それは到底ことばでは表現できない深い意味を含ん

誰かを何かについて責めるな、そうすれば解放と安らぎがみつかる。あなたにどういうことが起ころうとも、何かをあるいは誰かを見つけて責めることはやめよ。他人を責めることは治癒力のある洞察を切りとってしまうこ

他人に対する非難のほとんどは下意識でなされているから、われわれはそれに気づかない。しかし、神秘思想家、エックハルトが指摘したように、地表の下にある石は、見える石同様に重いのだ。重荷を棄てるためには、一

Revision #2
Created 6 November 2024 06:18:17 by ゆう
Updated 6 November 2024 06:29:57 by ゆう